ご自由にお持ちください

魚沼市・十日町市・津南町
南魚沼市・湯沢町・そして周辺

越後魚沼

越後魚沼は雪ありてこそ輝く

第９号
〈2018年8月〉

生誕300年 木喰上人の微笑仏 …2–3
深緑の大地へ …4

雪ありて

越後魚沼探訪
南魚沼・中魚沼・北魚沼エリアを行く

大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ2018　マ・ヤンソン／MADアーキテクツ「ライトケーブ」(Photo Osamu Nakamura)
清津峡渓谷トンネルのエントランス施設と、トンネル施設の改修をMADアーキテクツが手がけた。「ペリスコープ」はトンネルを潜水艦に見立て、外を望む潜望鏡として各作品を展開。
「ライトケーブ」は全長750mのトンネルにある見晴らし所と、終点のパノラマステーションで作品を展開、終点には、清津峡の景観を反転して映す「水盤鏡」の幻想的な眺めが待っている。

季節の花

黒苺
画・外山康雄

Thanks to Snow　A Dragonfly in Heaven

Every summer when Obon was near, my mother took me to our family graveyard. We cleaned the headstone, placed flowers from our garden, lit candles and burnt incense. The cool air in early morning, the smell of incense and the chants leaking from the temple were soothing and tranquil, even for a little child.

They say Obon is the time our ancestors come back to visit us. It's the time to think about our loved ones who are deceased. Not only that, August is the month of Memorial Days for Hiroshima, Nagasaki and the anniversary of the War's end.

73 years have passed since the last war ended. Most of us don't even know what wartime is like but we still think of August as the month of loss and pain. Because of these yearly ceremonies and rituals, August brings feelings of grief and mourning in peaceful modern-day Japan, while summer is merely bright, sunny and warm with blue sky and ocean for most of the world.

I want to believe and certainly hope August will always be like that in this country.

8月は欧米では夏の終わりで、みんなが休暇から帰ってくる月だが、梅雨のある日本では夏のど真ん中。誰もが海や山に心を向ける夏休みの月だ。だがもうひとつ、日本の8月には決定的に他の国とは違うことがある。

それは日本の夏に染みこんでいる、ある種の痛みと悲しみ。

戦争を知らない子供たちの方がはるかに多くなった現在でも、日本人は広島と長崎を偲び、終戦の遠い夏の日の蝉の声を、まるでその場にいたかのように思い出す。そしてお盆には、死者を弔い、ろうそくに火を灯す。

日本の8月は先祖だけでなく戦争で失われた命を悼み、過去の過ちに想いを馳せ、同時に平和な未来に夢を継ぐ月だ。

土井ひとみ　Hitomi Doi

生誕300年 木喰（もくじき）さんって、どんな人？

魚沼地域に残る木喰（もくじき）上人（しょうにん）の微笑（みしょう）仏（ぶつ）

①如意輪観世音大士　大月区

②背面に仏像の名称、制作年月日などが記されている

⑤（右）大黒天
（中）大山不動明王
（左）吉祥天女尊　大崎・大崎院

④三面馬頭観音　今泉・真福寺

③太子尊　小出・正圓寺

⑭愛宕地蔵大菩薩　塩沢・法人蔵

⑫（右）山ノ神尊
（左）吉祥天女尊　栃窪区

⑪役行者　城内・久川家

⑩（弘法）大師　田崎・地蔵堂

⑲（名称不明）湯沢・戸沢観音堂

⑱愛染明王　湯沢・田村家

⑰神変大菩薩　吉里・正光寺

今からちょうど三百年前、享保3年（1718）山梨生れ、45歳で「木食戒（もくじきかい）」を授かり修行僧となり全国各地を行脚。93歳で没すまで千体を超す仏像を残した―という人物が木喰上人。

その死後百年間は世に知られることなく過ぎ、大正13年（1924）民藝運動の柳宗悦によって再発見され、改めて注目を浴びることになる。

逸話からは、学識の深さと人間離れした能力の高さが伝わってくる。そうでなければ、これ程に人々を魅了する作品は生まれなかっただろう。

新潟県には2度訪れていて、天明年間に佐渡を、享和文化年間に中越地域を、それぞれ仏像を刻みながら回った。現在、県内には像と書画など二百六十点ほどが残るという。

さて、ここで魚沼地域にある木喰さんの作品を並べてみた。

作品の分布は現在の南魚沼市に多く、その他は魚沼市と湯沢町に見られる。

木喰さんは文化2年（1805）8月末から10月まで魚沼地域に滞在している。

この時に残した作品は二十数点で、自身88歳の円熟期であり、木喰さんらしい微笑（みしょう）仏（ぶつ）と呼ばれるものが多い。

①・②如意輪観世音大士は、この作品のために地元でお堂を建てたというだけあって、保存状態がとても良い。

⑨カフキヤフ大師は、それまで判読が困難で、カフヤノ（弘法）大師とされていたものが、赤外線写真でカフキヤフ（興教）大師と判った。

⑯の二体は彩色が施されているが、これは後日に人の手が入ったもの。

⑲（名称不明）は、落雷で火事に見舞われ黒こげになったという。そのため名称が読み取れない。

このように一つひとつを見ていくと、この地を訪れてくれた木喰さんと、作品を保存した人々のことが思われて興味は尽きない。

平成24年（2012）10月5日から11月5日まで、池田記念美術館で「木喰―癒しのほほえみ」展が開催された。行政や文化財保護審議委員などと、地元ボランティアが実行委員会を組織しての取り組みであった。

会期中は、地元だけでなく特に県外からも多くの人たちが訪れたことは驚きだった。

ここ魚沼地域では、木喰上人から百年後に江戸で生れた石川雲蝶が、やはり多くの作品を残していて因縁を感じる。

写真・文　酒井　建

⑬明見尊　塩沢・中島屋

岡本太郎画伯が愛した越後のそば処

厳選した地元そば粉を石臼でひき、打ち、精選されたそば粉を混ぜ合わせて布海苔でつなぐ自家製粉にこだわっています。そば通を唸らせる独特の舌ざわりと歯ごたえ、つるっとした喉越しは格別。高級絹織物の伝統産地、十日町が育んだ「そば」の味をご堪能ください。

名代生そば 西屋

故岡本太郎画伯書

十日町市土市4　TEL025-758-2077
営業時間／10:30～18:30　定休日／火曜日

千手温泉でゆったりの～んびり夢心地

温泉ファンから高い評価をいただいている千手温泉「千年の湯」。加温も循環もしていない正真正銘、源泉かけ流しの温泉は、薄茶褐色のお湯。湯あたりしにくいお湯は、お肌に絡みつくように、しっとりすべすべに…。
お食事はメニューも豊富で、10店舗の専門店から美味しい料理が選べます！

千手温泉 千年の湯

十日町市水口沢121-7
TEL025-768-2988
営業時間／10:00～22:00
〈年中無休〉

越後の地酒や名産のそばも豊富に揃う

津南高原の朝採り野菜や魚沼産コシヒカリ、にんじんジュース
地元の農産品、特産品を販売。館内には食堂「とんかつ つまり」も併設

美味しい地野菜が豊富な津南食彩館

ボリューム満点のジャンボとんかつ

津南観光物産館・津南食彩館
TEL025-765-5008　FAX025-765-2949
新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎乙203（R117号沿）
営 9:00～18:00（秋まで休まず営業）http://www.aji-y.com/

四季を通じてアートとスポーツと文学を満喫できる公園の中の美術館

野球・オリンピック・相撲の三本柱を中心に、多彩なスポーツコレクションを展示。小泉八雲、會津八一、エレオノラ・ラグーザの常設展ほか、地元美術家やゆかりの作家の展覧会など企画展も常時開催しています。

池田記念美術館

南魚沼市浦佐5493-3　TEL 025-780-4080
■開館時間／9:00～17:00（入館は閉館の30分前まで）　■休館日／水曜日
■駐車場／有り　■入館料／一般500円（高校生以下無料）
※その他展示変更のため臨時休館する場合がございます。※年間パスポート好評発売中

旅情さそう日本秘湯を守る会の宿

肌に優しい
源泉掛け流し薬湯

渓谷を望む
宿泊客専用露天風呂

上杉謙信公ゆかりの薬師如来像のお告げによって掘り当てられた温泉。採れたての山菜や川魚料理など、四季折々の味覚を心ゆくまで楽しむことができます。

清津館（きよつかん）

新潟県十日町市清津峡湯元温泉
TEL025-763-2181　FAX025-763-2535
http//www.kiyotsukan.com

苗場山登山や街道沿いのトレッキングに
どうぞお立ち寄りくださいませ ―

けんちんもつ煮汁

街道の湯

道の駅みつまた

〒949-6211　南魚沼郡湯沢町大字三俣 1000 番地　TEL025-788-9410
営5月～11月 9:00～17:00（無休）、12月～4月 10:00～19:00（火曜定休）
http://michieki-mitsumata.jp

⑥大黒天　今町新田・中島家

⑦愛染明王　九日町・高橋家

⑧薬師如来　名木沢区

⑨（右）慈源大師
（左）カフキヤフ大師　城内・満願寺

⑮聖観世音大士　小木六区

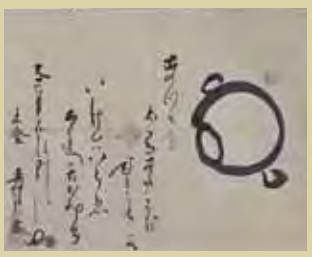
⑯（右）子安観世音大士
（左）薬師如来　吉里区

二体は、背中合わせにすると元は一本の木を割って彫られたものであることが解かる年輪もぴったり符号する

米寿八木の版木札　栃窪・笛木家

六字名号　塩沢・林家

龍水軸　寺尾・井口家


槌の歌　君帰・野沢家

軸（福は内）湯沢・林家

仏像を彫る速さは尋常ではなかったと伝わる。書や絵もよくし、その線はのびやかである。

微笑み、200年の時を経て今も

ディスカバー越後魚沼

じつは、『北越雪譜』を読んでいなくて…②

雪の降る寒い夜、その人の登場は季節的に不釣合でした。

橋の川辺で念仏をする僧の前、川の中から青い火がひらひらと燃え上がります。普通ではないと思う状況、必死に念仏を唱えます。何かを感じ、橋の上を見ると、やせて青ざめた女がひとり、乱れた黒髪、濡れた着物で立っていました。

これはこの世のものでない、僧は幽霊と思い、また懸命に念仏を唱えました。

真冬に登場する幽霊、「雪中の幽霊」の話が『北越雪譜』にあります。この幽霊の名は「お菊」、幽霊のお菊、どこかで聞いた名前です。

このお菊さんは成仏したいのですが、この黒髪が邪魔をして成仏できない、どうか髪を剃ってくれませんかとお願いします。僧は了解し、明日用意しますので私の庵に来なさいと伝えます。

僧の名は「源教」といいました。源教は、翌日、ある村人に証人になってほしいと頼みます。その夜、村人は庵内に隠れ、源教と共に幽霊を待ちました。

その夜は雪になり、物音を飲み込むように静まりかえっていました。

牧之が詠んで好んでいた句があります。

そっと置くものに音あり夜の雪　牧之

雪の降る夜は物音しない、その状況でそっと置いたものでも音が響くと。

時間が経ち、源教がうたたねしそうになった瞬間、お菊の幽霊が目の前に座っていました。源教はぞっとしますが、心を落ち着かせて、お菊の毛を剃りはじめます。剃った髪の毛はするするとお菊の懐に入っていきます。少しでもと思い、源教は髪の毛を手にからめます。

幽霊は髪を剃ってもらい、これで成仏できると消えていきます。源教の手元には、ほんの少しの髪の毛がのこりました。

証人となった村人と相談し、塚を建て供養します。その塚は現在も「毛塚」といわれのこっています。

鈴木牧之記念館

毛塚（南魚沼市石打）

ミニ企画展
「北越雪譜の化け」
9月3日まで開催中
於：鈴木牧之記念館

ディスカバー越後魚沼

現在の塩沢宿から、江戸時代の三国街道が想像できる！

古い時代が滅び、新しい時代が栄えるのが世の常だが、新しい時代に残る古い物は、あるだけでも貴重な価値となる。

江戸安政に入った頃だろうか。三国街道塩沢宿では、薄荷草を蒸留して薄荷油を商売にしていた時代だった。その中でも豪商と言われた「鈴木屋」は、薄荷油の宣伝をするため立て看板を作る事にしたようで、当時まだ堀之内で仕事をしていた石川雲蝶に依頼した。

もう一方の豪商「平野屋」も熊谷から来た彫り師、小林源太郎に同様の宣伝用立て看板を依頼した。どちらも高さ9メートルもある看板だった。当時は宿場の入口と出口の店先に掲げ、薄荷油の宣伝文句を書いてアピールした。

三国街道を往来する旅人も、参勤交代の殿様も、桁外れの大看板にさぞや度肝を抜かしたのではなかろうか。

明治に入り、源太郎の手掛けた看板は大風によって倒壊してしまい、雲蝶の作った看板も解体されて、鈴木家の菩提寺に寄進されてしまった。

現在、平野屋の店内では源太郎作の彫り物の部位がパーツごとに飾られていて、ミニ美術館のようだ。

雲蝶の作品も解体され寺の位牌堂を守っていて、深彫り躍動感あふれる構図は雲蝶らしさが光り鳥肌が立つような迫力である。

これらの2本の大看板がその時期、数十年にわたって、三国街道塩沢宿の賑わいを醸し出していたと思われる。

当時の人々に多くの影響を与えた立て看板だが、後の時代に、さらにそれ以上のものを作りたいと明治44年に12メートルの大看板を作ったのが長岡摂田屋の機那サフラン酒本舗の創業者である。

三国街道塩沢宿で、雲蝶と源太郎が切磋琢磨して彫りあげた立て看板。それを手本に造られた大看板は今、復元されお披露目の時期を待っているところだ。

観光バスガイド　中島すい子

ふるさとのお土産に好評です
雪国きのこもぎとり販売
新鮮！
雪国まいたけ・雪国えりんぎ・雪国しめじの
「きのこのもぎとり体験販売」が好評！

雪国まいたけ物産館
☎025-770-1231
南魚沼市余川 2968-1
営業時間／9:30～18:00
定 休 日／年中無休
12月31日は午後3時閉店
元旦は休日・1月2日は午後4時閉店
1月3日から通常営業

津南で一番濃い温泉
週替りで2つの温泉をお楽しみいただけます

竜ヶ窪温泉　竜神の館
☎025-765-5888
中魚沼郡津南町谷内
定休日／毎週火曜日

美容と健康に
効能を高めた5つの湯殿
六日町温泉　ナトリウム－塩化物温泉　低張性弱アルカリ性高温泉

● 日帰り入浴　お一人様1,000円
天然温泉・漢方温泉・塩浴うたた寝の湯
自然エネルギーの湯・重炭酸水素風呂
● 薬石風呂　プラス1回 500円

心と身体が元氣になる宿
龍氣（りゅうき）
南魚沼市小栗山2310
TEL025-770-2525　FAX025-770-2526
http://www.ryuuki.com/
E-mail ryuuki@ryuuki.com

雪ありて 深緑の大地へ

Information
2018年8-9月

南魚沼 南魚沼市 湯沢町 山陵と渓谷

1**八海山**（南魚沼市）ロープウェー山頂駅からは佐渡島まで見渡すパノラマが望める。問八海山ロープウェー☎025-775-3311 2**五十沢渓谷**（南魚沼市）三国川ダム上流の十字峡から下津川、黒又川、三国川上流へ渓谷美が続く。問しゃくなげ湖畔開発公社☎025-774-2200 3**大源太キャニオン**（湯沢町）自然散策、カヤック体験など楽しみ多彩。問（一社）湯沢町観光協会☎025-785-5505 4**湯沢高原パノラマパーク**（湯沢町）ロックガーデンは日本最大級。ジップラインなどアクティビティも充実。☎025-784-3326

1**ダム湖百選　奥只見湖**（魚沼市）日本最大級の人造湖。こども船長体験は8月31日まで毎日開催。湖上遊覧は11月8日まで運行。問奥只見観光㈱☎025-795-2750 2**うおぬまダムスタンプラリー2018**　魚沼市内6箇所のダムを巡り、スタンプを集めてオリジナルダムカードGET。自由研究にもおすすめ。（写真：破間川ダム）問（一社）魚沼市観光協会☎025-792-7300

北魚沼 魚沼市 涼風の谷

3**越後ハーブ香園入広瀬**（魚沼市・入広瀬）高台に広がるハーブ公園。サッカーコートや、キャンプサイト、バーベキューサイトなども充実。☎025-796-2120 4**日本遊歩道100選 中荒沢万年雪**（魚沼市・銀山平）登山口から展望台まで徒歩約40分。管理協力金200円（小人100円）。問銀山平キャンプ場☎025-795-2448

1**大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ2018**（十日町市・津南町）7月29日～9月17日開催。問大地の芸術祭実行委員会 ☎025-757-2637 2**全国名水百選　龍ヶ窪**（津南町・谷地）7～10℃の冷水が湧き出し一日で池の水が入れ替わる。問津南町観光協会 ☎025-765-5585 3**川の展望台**（津南町・上野）信濃川と雄大な河岸段丘を一望。問津南町観光協会 ☎025-765-5585 4**越後妻有大厳寺高原キャンプ場**（十日町市）標高700mに広がる高原で多彩なアウトドアが楽しめる。問越後妻有大厳寺高原キャンプ場 ☎025-596-2994

中魚沼 十日町市 津南町 里山とアート

津南ひまわり広場 2018（津南町沖の原台地）8月19日まで。50万本のひまわりが咲き誇る。駐車場：バイク100円、普通車300円。問津南町観光協会☎025-765-5585
松之山大厳寺高原キャンプ場　真夏の雪まつり（十日町市）8月14日㊋。雪上でのゲームやソリ遊びなど。問十日町市観光協会松之山事務所☎025-596-3011
大前神社例大祭（南魚沼市大崎・大前神社）8月14日㊋・15日㊌。14日夜の翁式三番は平安期の猿楽の形を残す。県指定無形民俗文化財。問大和観光協会☎025-777-3054
盆踊り「大の阪」（国重要無形民俗文化財）（魚沼市堀之内・八幡宮境内）8月14日㊋～16日㊍。別名「念仏踊り」。哀愁を帯びた静かな踊りが特徴。問大の阪の会☎025-794-6073
湯沢温泉夏まつり（湯沢町・JR越後湯沢駅東口駅前広場）8月15日㊌。祭り広場、若連中みこし、花火大会など。問湯沢温泉夏まつり事務局☎025-785-5353
清田山キャンプ場まつり（十日町市）8月15日㊌。真夏の雪のすべり台や雪中宝探し、さかなのつかみ取りなど。問清田山キャンプ場☎025-763-3001
小出まつり（魚沼市小出・本町周辺）8月25日㊏～27日㊐。花火大会は26日夜。打上げ数2,000発予定。問小出商工会☎025-792-2124（平日のみ）
十日町おおまつり（十日町市駅通り・本町他）8月25日㊏～27日㊐。大民謡流しや全国的にも珍しい八角神輿など。問（一社）十日町市観光協会☎025-757-3345
魚野川鮎まるかじり祭（南魚沼市・魚野川坂戸橋西詰側）8月25日㊏・26日㊐。全長20mの特設焼き場で鮎を炭火焼きして豪快に丸かじり！模擬店など。問六日町観光協会☎025-770-1173
松之山温泉JAZZストリート（十日町市松之山温泉）9月8日㊏。温泉街特設ステージでの限定ライブ。チケット：前売り2,500円、当日3,000円。温泉入浴券・屋台村で使える600円券付。問十日町市観光協会松之山事務所☎025-596-3011
越後妻有クラフトフェア2018（津南町・ニュー・グリーンピア津南）9月8日㊏・9日㊐。100人の作家が集結。木工・金属・ガラス・布・石・陶芸・染織・紙・皮革など逸品が勢ぞろい。問モリクラフト☎ 025-765-4934
若宮八幡宮十五夜祭・太々御神楽（南魚沼市一村尾・若宮八幡宮）9月15日㊏・16日㊐。江戸時代宝暦年間より伝わる御神楽。市指定無形民俗文化財。問大和観光協会☎025-777-3054
ぶどう収穫祭とワイン祭り（南魚沼市浦佐）9月15日㊏・16日㊐。ぶどうもぎ獲りや野外コンサートなどワイナリーならではの楽しみ盛りだくさん。問アグリコア越後ワイナリー☎025-777-5877

小嶋屋は地産地消にこだわり
安心・安全な食の提供のため
地元の食材使用を心がけています

上質の玄そばとつなぎの布海苔、そして初代重太郎より受け継がれるこだわりの製法によって生まれる小嶋屋のそばは、独特の歯応え、のどごしが身上の、越後のそばを代表する元祖十日町へぎそば処です。地元はもとより全国からご好評頂いております。

健康にこだわり十日町市
枯木又の古代米を使用した「黒米へぎそば」

越後十日町 小嶋屋
●本　　店／十日町市本町４　TEL025-757-3155
●和(なごみ)亭／十日町市下島　TEL025-757-1513
●越後湯沢店／湯沢町（JR 駅構内）TEL025-785-2081
http://www.hegisoba.co.jp

おいしい 新米 お届けします
平成29年産

天日干し
特別栽培米コシヒカリ
5kg 5,000円
特別栽培米コシヒカリ
5kg 3,500円

「農ある豊かな未来へ」を
モットーに、心を込めて
栽培しています。

一般財団法人 魚沼農耕舎
〒946-0216 新潟県魚沼市須原20-5
TEL025-797-2255 FAX025-797-2562
http://www.uonuma-agri.or.jp/ Mail info@uonuma-agri.or.jp

NIIGATA PREF MUKAMACHI HOT SPRING RYUGON
温泉 御宿 龍言
和の美に包まれて

4,000坪の日本庭園を貸し切りで――。
お二人だけ、お身内だけの結婚式もご相談ください。

温泉 御宿 龍言
〒949-6611 新潟県南魚沼市坂戸 79
TEL.025-772-3470
URL http://www.ryugon.co.jp
MAIL info@ryugon.co.jp　ご送迎賜ります

●編集部／株式会社みらい内 〒948-0065 新潟県十日町市高田町3丁目304-2 ☎025-752-0350 ●メール yukiarite@gmail.com
●発行所／北越印刷株式会社六日町営業所 〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町479番地3 テルエルクボタビル 3F ☎025-788-0891 本社／新潟県長岡市南陽2丁目949-8　営業所／東京、新潟、上越、六日町